

「観光客動向調査」(夏期) について

1 目的

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、旅行の「個別化」「多様化」が進展する中、より効果的な観光施策を検討していくため、南会津地域(南会津郡4町村。以下、「当地域」という。)の観光客数、来訪者の属性(居住地、年齢、性別等)、観光のニーズ等を調査する。

2 実施内容

(1) 各施設の利用者動向調査

- 調査期間
令和4年7月から令和4年9月

- 調査対象施設
 - ・ 宿泊施設
各町村の観光協会加盟施設を中心に選定した151施設

 - ・ 物販施設
各町村から選定した10箇所
(下郷町) 道の駅しもごう、まちの駅下郷町物産館
(檜枝岐村) 尾瀬の郷交流センター、山人家
(只見町) 只見町インフォメーションセンター
(南会津町) 道の駅たじま、道の駅きらら289、道の駅番屋、
会津田島駅売店やまなみ、まちの駅南会津ふるさと物産館

 - ・ 観光施設
各町村から選定した17箇所
(下郷町) 大内宿、塔のへつり、養鱒公園
(檜枝岐村) ミニ尾瀬公園、檜枝岐の舞台、尾瀬檜枝岐温泉燧の湯、
尾瀬檜枝岐温泉駒の湯
(只見町) ただみ・ブナと川ミュージアム、河井継之助記念館、
深沢温泉むら湯、田子倉湖
(南会津町) 前沢曲家集落、奥会津博物館、旧南会津郡役所、
会津田島祇園会館、古町温泉赤岩荘、小豆温泉窓明の湯

- 調査項目
別紙参考1「調査票」のとおり。

- 調査方法
対象施設に調査票を送付し、回答を依頼する。

(2) 観光施設での対面式アンケート調査

- 調査期間
令和4年7月から令和4年9月

- 調査対象施設
各町村から選定した5箇所
(下郷町) 大内宿
(檜枝岐村) 道の駅尾瀬檜枝岐
(只見町) 田子倉レイクビュー
(南会津町) 道の駅 会津西街道 たじま、道の駅きらら289

- 調査項目
別紙参考1「調査票」のとおり。

- 調査方法
観光施設の来訪者を対象として、調査員の対面によるアンケート調査を実施。

3 実施結果概要

(1) 各施設の利用者動向調査

- 宿泊施設（回答施設／調査対象施設：36／151）
 - ・ 宿泊者の年代は50代以上が多く、1人もしくは2人での来訪が多い。
 - ・ 宿泊者の居住地について、福島県のほか、関東圏が多い。
 - ・ 交通手段は自家用車が多く、泊数は1泊が多い。
 - ・ 情報発信の媒体として、ホームページが効果的であると感じている施設が多い。

- 物販施設（回答施設／調査対象施設：5／10）
 - ・ 来訪者の年代は50代以上が多い。
 - ・ 来訪者の居住地について、福島県のほか、関東圏が多い。
 - ・ 交通手段は自家用車、電車が多い。
 - ・ 情報発信の媒体として、SNSが効果的であると感じている施設が多い。

- 観光施設（回答施設／調査対象施設：8／17）
 - ・ 来訪者の年代は50代以上が多く、個人（一人）での観光がメイン。
 - ・ 来訪者の居住地について、福島県のほか、関東圏が多い。
 - ・ 交通手段は自家用車が多い。

(2) 観光施設での対面式アンケート調査

- 回答サンプル数：271
大内宿：55
道の駅尾瀬檜枝岐：55
田子倉レイクビュー：53
道の駅 会津西街道 たじま：54
道の駅きらら 289：54

● 全体の傾向

【来訪者の属性等】

- ・ 来訪者の居住地は、**福島県のほか、関東圏がメイン**。只見町では新潟県からの来訪者も多い。(1位：福島県、2位：栃木県、3位：茨城県、同率4位：東京都、新潟県)
- ・ 来訪者の年代は**40代 (27.7%)、50代 (25.1%) が特に多い**。
- ・ 交通手段は**自家用車**での来訪の割合が高く (84.5%)、**40代～60代の男性では、バイク**での来訪という回答も目立つ (15%)。
- ・ 男女ともに、配偶者と来訪する割合が高い (45.0%)。
- ・ 来訪の目的について、「観光」がほとんどで (88.9%)、次いで「家族・友人・知人に会うため」(2.6%)。「仕事」、「ワーケーション」という回答はゼロであった。
- ・ 施設の利用に関しては、「初めて」(50.2%) もしくは「4回以上」(28.8%) という回答が多く、一度来訪した方がリピーターになる割合が高いと考えられる。また、50代以降の年代におけるリピーター率の割合が高い。(41.1%)
- ・ 南会津地域での滞在日数について、64.7%が1日と回答。
- ・ 南会津地域への来訪を決めた一番の情報源としては、「インターネット検索」(37.5%) が最も多く、次いで「家族や知人からの情報」(20.2%)。

【滞在に対する満足度、旅行の趣向】

- ・ 南会津地域の滞在に対する満足度については、**83.3%**が「高い」または「やや高い」と回答しており、**再来訪意欲は97.7%**。特に満足度が高かった分野については、「自然」(67.5%)が最も多く、次いで「食」(38.7%)となった。
- ・ 満足度が低かった分野としては、**68.6%**が「特になし」とした一方、**13.3%**が「交通機関」と回答した。
- ・ 南会津を観光地として選んだ理由としては、「自然景観を楽しむため」(52.8%)とする回答が最も多く、次いで「観光名所を訪問するため」(33.3%)、「料理・酒を楽しむため」(30.1%)。
- ・ 観光・旅行に求めるものについて、「リラックスしたい」(65.3%)が最も多く、次いで「日常から離れたい」(58.3%)、「その土地ならではのものを楽しみたい」(42.4%)。「その土地ならではのものを楽しみたい」という回答の割合は女性で特に多くなっている。(男性38.1%、女性51.1%)

【出費の傾向】

- ・ 交通費の平均額は10,719円となっており、特に40代の出費が高くなっている(平均15,477円)。
- ・ 宿泊費の平均額は31,115円となっており、**女性の出費が男性に比べて平均額にして約5,000円高い結果となった**。全体では20代以下の女性の出費が最も高い。
- ・ 飲食費の平均額は6,701円となった。全体では20代以下の女性の出費が最も高い。
- ・ 土産代の平均額は5,252円となった。全体では30代男性の出費が最も高く、女性の中では20代以下の出費が最も高い。
- ・ 体験代の平均額は3,303円となった。全体では30代男性の出費が最も高く、女性の中では20代以下の出費が最も高い。